

自家用火力発電設備建設事業に係る環境影響評価方法書に対する
環境の保全の見地からの意見

1 温室効果ガスの環境影響評価について

自家用火力発電設備建設事業に係る環境影響評価方法書（以下「方法書」という。）において、施設の稼働時における二酸化炭素を定量的に予測することが記載されているが、具体的な予測手法が記載されていない。環境影響評価準備書（以下「準備書」という。）の作成に当たっては、事業所からの二酸化炭素排出量を定量的に予測し、環境保全措置により当該排出量がどの程度削減されるのか検討した結果を記載すること。

2 廃棄物の環境影響評価について

方法書において、建設工事に伴う産業廃棄物の発生量を定性的に予測することが記載されているが、準備書の作成に当たっては、建設工事に伴う産業廃棄物の発生量及び環境保全措置として採用する再資源化の割合を定量的に予測し、これらを準備書に記載すること。

3 その他

方法書には、事業実施区域の現在の土地利用の状況、工作物の有無等の情報が記載されていないため、準備書において、写真等を活用して現在の状況について記載すること。